

PHILHARMONIX

THE VIENNA BERLIN MUSIC CLUB

フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン

N. ベンディックス=バルグリー
(ヴァイオリン)

S. ギュルトラー
(ヴァイオリン)

T. フェヒナー
(ヴィオラ)

Ö. ラーツ
(コントラバス)

D. オッテンザマー
(クラリネット)

S. コンツ
(チェロ)

C. トラクスラー
(ピアノ)

動画を見る↓



#フィルハーモニクス
#Philharmonix

「ウィーン・フィル」「ベルリン・フィル」の
トップ・プレイヤー達が贈る最高のエンターテインメント!

©Max Parovsky

PROGRAM

大切な人と過ごすクリスマス

Celebrate Christmas with Your Partner

フェリシアーノ/ギュルトラー編:

フェリス・ナヴィダ(メリー・クリスマス)

J. Feliciano (arr. S. Gürtler): Feliz Navidad

ベートーヴェン(コンツ編):

スウィング・オン・ベートーヴェン

L. V. Beethoven (arr. S. Koncz): Swing on Beethoven

フレディ・マーキュリー:

ドント・ストップ・ミー・ナウ

(フィルハーモニクス・ヴァージョン)

F. Mercury: Don't Stop Me Now (Philharmonix Version)

リムスキー=コルサコフ(タカヒロ サクマ編):

シェヘラザード 他

Rimsky-Korsakov (arr. Takahiro Sakuma): Scheherazade

※曲目・曲順は変更になる場合がございます。曲目詳細は後日WEB等で発表いたします。

2022.12/13[火] 19:00開演
(18:00開場 21:00終演予定)

東京芸術劇場 コンサートホール

7:00p.m. Tuesday, December 13, 2022 at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

全席指定: ¥7,000 学生券: ¥3,500

※料金には消費税が含まれています。※特別割引料金については裏面をご覧ください。

ジャパン・アーツぴあオンラインチケット: 8月13日(土)

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp/

●東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 www.geigeki.jp/t/

●チケットぴあ t.pia.jp [Pコード: 222-776]

(休館日を除く10:00~19:00)

●イープラス eplus.jp

●ローソンチケット l-tike.com [Lコード: 31605]

8/20[±]
10:00
前売開始

主催: ジャパン・アーツ 提携: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場 協力: ユニバーサル ミュージック

後援: オーストリア大使館 オーストリア文化フォーラム / オーストリア政府観光局 オーストリアの休日

聖夜に「ごきげんさん」たちが帰ってくる!~フィルハーモニクス 2022

フィルハーモニクス ウィーン=ベルリンはその名の通り、オーストリアの首都ウィーン、ドイツの首都ベルリンをベースに活躍する腕利き音楽家「7人の侍」のアンサンブルだ。何人かは世界オーケストラ番付の東西両横綱、ウィーン・フィルとベルリン・フィルのメンバーだが、フィルハーモニクスのレパートリーは純クラシックの外側に、大きく飛び出している。それぞれのルーツであるオーストリア=ハンガリーの民族音楽や19世紀のダンス・ミュージック王ヨハン・シュトラウスは序ノロ、映画「ボヘミアン・ラプソディ」(*) (2018)で再度人気に火が付いたロック・グループQUEENのヒット曲からヘンリー・マンシーニの「ピンク・パンサー」(*)テーマ曲まで「何でもござれ」だ。世界トップクラスの演奏テクニックだけでは物足りないのか渋い歌声まで、時に妙な日本語も交えて披露する。(*2018年来日時に演奏)

かなりイケメンのはずなのに、どこか「ズレた」MC (司会進行) で不用意な笑いをとるウィーン・フィル首席クラリネット奏者のダニエル・オッテンザマー、同フィルのヴィオラ奏者で「紅一点」の衣装が目を引きティロ・フェヒナーはじめ、見た目にも華やかな面々。編曲を担うのはウィーン・フォルクスオーパーの元コンサートマスターでヴォーカルも得意なセバスティアン・ギュルトラー(ヴァイオリン)と、ベルリン・フィルのチェロ奏者シュテファン・コンツの2人。日本の子どもたちから「音楽をされていて、最も重要なことは何ですか?」と質問された時は全員が即、「好奇心!」と答えた。

2022年はオーケストラの多忙な日程を縫って8~10月にヨーロッパ各地を回り、クリスマスの12月、日本にやってくる。ツアーに合わせてリリースする予定のドイツ・グラモフォン(DG)レーベルからのアルバム3作目でもR・シュトラウスの「サロメの踊り」を巧みにアレンジする一方、東欧ユダヤ系エスニックのクレズマー、ロシアのコサックとバラライカも交え、ボーダーレス路線まっすぐ。バックステージでも少年の遠足みたいに和気あいあい、徹頭徹尾「ごきげんさん」たちの奏でる音楽が、楽しくないわけがない。

池田卓夫 (音楽ジャーナリスト@いけたく本舗*) <https://www.iketakuhonpo.com/>

フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン Philharmonix Wien-Berlin

オーケストラ界の2つの頂点、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーとその仲間たちによる、魅惑の凄腕アンサンブル。超絶テクニックをベースに、クラシック、ジャズ、ラテン、ポップスなど多彩なジャンルの音楽を持つ本質とエッセンスを融合させ、才気溢れる新たな解釈で披露するクラシック・シーンのエリートたちによる演奏体験は常に聴き手を心酔させている。グラモフォンからリリースされたアルバム『PHILHARMONIX The Vienna Berlin Music Club』Vol.1は、2018年のOpus Classic Awardを受賞。ヨーロッパでは今年8月26日にVol.3がリリース。Philharmonixの7人は今や世界中の音楽ファンからで引手あまたである。

ノア・ベンディックス=バルグリー (1st ヴァイオリン) Noah Bendix-Balgley, Violin

米国出身。ベルリン・フィルの第1コンサートマスターを務め、ソリストとしても世界中で活躍。クレズマー音楽(東欧系ユダヤ民族音楽)の演奏と継承をライフワークにしている。Philharmonix いちばんのナイスガイといわれている。

セバスチャン・ギュルトラー (2nd ヴァイオリン) Sebastian Gürtler, Violin

オーストリア生まれ。元ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団の第1コンサートマスター。アルバンベルグ・アンサンブル、ウィーン・アマールコード・ウィーン四重奏団、フーゴ・ウォルフ弦楽四重奏団のメンバーとしても活躍する。Philharmonixでの演奏中にはトランペットや歌う鳥に扮することもある。

ティロ・フェヒナー (ヴィオラ) Thilo Fechner, Viola

ベルリン出身。ウィーン・フィルのメンバー。自転車競技者としてはプロ級の腕前をもつほか、隠れた絵の才能も誇る。ステージ上でひときわ眼をひく赤いスーツがトレードマーク。

シュテファン・コンツ (チェロ) Stephan Koncz, Violoncello

ウィーン生まれ。ベルリン・フィルのメンバー。室内楽奏者、「ベルリン・フィル12人のチェリストたち」としても活躍する。編曲のほか、作曲でも才能を発揮。常に速いテンポでの演奏を好み、全くの疲れ知らずと言われている。

ダニエル・オッテンザマー (クラリネット) Daniel Ottensamer, Clarinet

ウィーン生まれ。父エルンスト(2017年に逝去)と同じくウィーン・フィルの首席奏者を務め、弟アンドレアスもベルリン・フィルの首席というクラリネット奏者一家である。室内楽奏者、ソリストとしての活躍も目覚ましく、ウィーン・フィル、ザルツブルク・モーツァルテウム管、NHK交響楽団ほかと共演。PhilharmonixのCEO、コンサートの司会をつとめる。

エーデン・ラーツ (コントラバス) Ödön Rácz, Contrabass

ブタペストでハンガリーのfolkloreを演奏する一族に生まれる。ウィーン・フィルの首席奏者を務め、ソリストとしてウィーン・フィル、バイエルン放送響、ミュンヘン室内管ほかと共演。驚くべき超絶技巧の持ち主で、King of Bass

クリストフ・トラクスラー (ピアノ) Christoph Traxler, Piano

オーストリア生まれ。ソロ・ピアニスト、室内楽奏者として活躍し、シュターツカペレ・ハレでマンフレート・ホーネックやラルフ・ワイケルトと共演した。D. オッテンザマーとは子供の頃から音楽、サッカー仲間。Philharmonixでは複雑なスケジュール管理を担う。

特別割引チケットのお知らせ (ジャパン・アーツびあオンラインチケット及びジャパン・アーツびあコールセンターで受付)

- ◎学生席: 2022年8月20日(土)より受付開始。社会人を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂く場合がございます。)
- ◎シニア割引 65歳以上の方は全席指定¥6,300でお求めいただけます。
- ◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツびあコールセンターで受付)

(このことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ) ①やむを得ない事情により、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様との迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。⑩公演実施の可否は新型コロナウイルス感染状況を見極めて慎重に判断させていただきます。⑪必ずマスク着用でご来場ください。また、体調不良が認められる場合は、ご入場をお断りする場合がございます。劇場ガイドラインの遵守をお願いします。

フィルハーモニクス
ウィーン=ベルリン
その他の日本公演
2022 スケジュール

12/12 所沢市民文化センター ミューズ アークホール
☎04-2998-7777
12/14 浜離宮朝日ホール ☎03-3267-9990
12/15 愛知県芸術劇場コンサートホール
☎東海テレビチケットセンター 052-951-9104

Twitterでフォローする
@japan_arts

PHILHARMONIX



様々な音楽ジャンルを横断し、音楽の喜びを聴衆と分かち合う最高のエンターテインメント第2弾!

フィルハーモニクス ウィーン・ベルリン・ ミュージック・クラブ VOL 2

- ①ドント・ストップ・ミー・ナウ (フィルハーモニクス・ヴァージョン)
- ②スウィング・オン・ベーターヴェン
- ③パパラババ ④マイ・スパニッシュ・リヴァー ⑤アニュータ
- ⑥《こうもり》序曲 ⑦トリスダンのタンゴ ⑧中国の太鼓
- ⑨トランシルヴァニアの踊り ⑩サータム
- ⑪ピンク・パンサーのテーマ ⑫チャールダーシュ

CD: 080-866 直輸入盤: オープン・プレイス



ベルリン・フィルとウィーン・フィルの
スゴ腕とその仲間、
ジャンルを超えた超絶エンターテインメント。

フィルハーモニクス ウィーン・ベルリン・ミュージック・クラブ VOL 1

ボヘミアン・ラプソディ〜イングリッシュマン・イン・ニューヨーク

- ①ボヘミアン・ラプソディ ②ハンガリー舞劇第1番
- ③ローズ・ルーム ④ミロンガ・ロカ ⑤ニュー・サティースファクション
- ⑥ラシアン・オーヴァチュア ⑦ロマンツァ
- ⑧フェリス・ナヴィダ (メリー・クリスマス) ⑨グノシエンヌ
- ⑩救い主とヴァイオリン [日本バージョン] ⑪ビッグ・エレファント
- ⑫ベビー・エレファント・ウォーク (子象の行進)
- ⑬イングリッシュマン・イン・ニューヨーク
- ⑭バルカン・パーティ

SHM-CD: UCCG-1798
定価 ¥2,778 (税抜価格) + 税

Access Here ▶



クラシックのトップクラス



発売・販売元: ユニバーサル ミュージック <http://www.universal-music.co.jp/classics/>

ユニバーサル ミュージック ストアから商品が購入できるようになりました! (一部商品を除く) <http://smarturl.it/um-classics>
ニュースレター会員募集中! 無料で最新情報を! <http://umusic.ly/umnews>